

新型コロナウイルス影響調査

■調査の概要

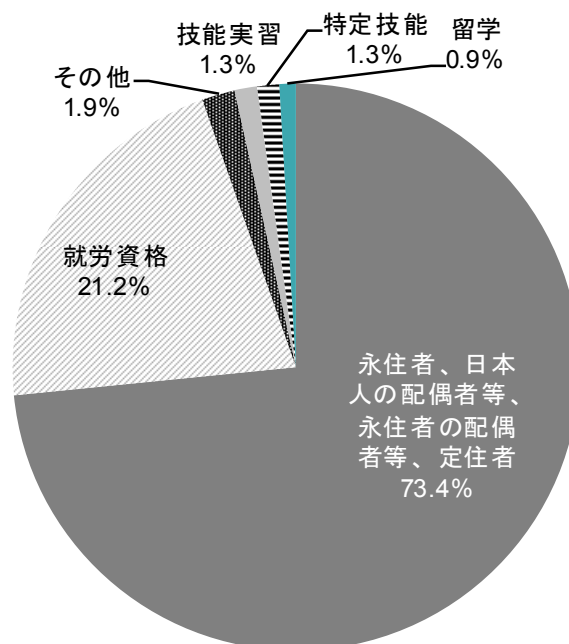
区 分	内 容
調査対象	外国人県民（ブラジル人、フィリピン人） ・多文化共生課 Facebook に登録している人 ・在浜松ブラジル総領事館・静岡県多文化共生総合相談センター かめりあ・市町相談センターの利用者 ・県営住宅に住んでいる人 等
調査方法	インターネットによるアンケート調査
調査時点	令和2年6月1日現在
調査期間	令和2年6月5日（金）から30日（火）まで
集計件数	317件（ポルトガル語260件、フィリピン語57件）
結果の見方	「n」は number of samples 標本数 「SA」は single answer 単回答 「MA」は multiple answer 複数回答

■主な調査結果

1 在留資格（SA）

在留資格については、「永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者」が73.4%、次いで「就労資格」が21.2%であった。

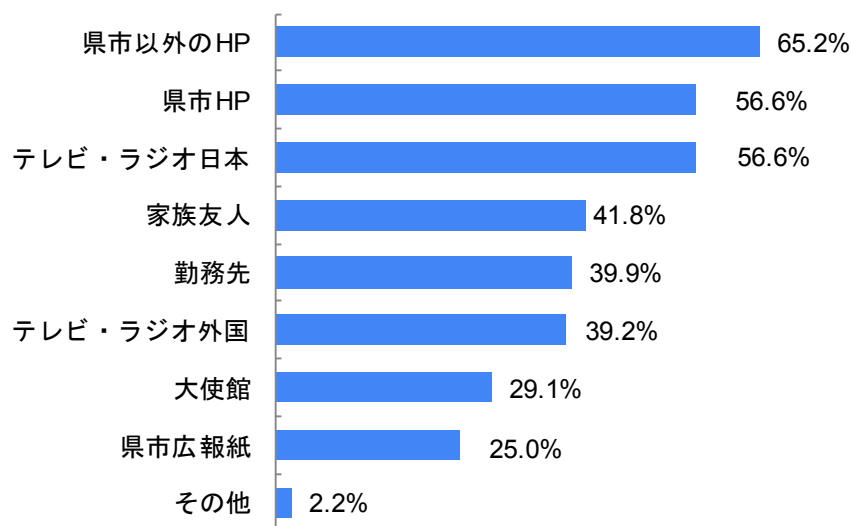
図1 在留資格（n=316）



2 新型コロナウイルスに関する情報入手先（MA）

新型コロナウイルスに関する情報入手先については、「縣市以外のHP」が65.2%、次いで「縣市HP」が56.6%とインターネットを介した情報入手が多かった。「縣市HP」と並んで「テレビ・ラジオ日本」（56.6%）、「家族友人」（41.8%）、「勤務先」（39.9%）と続いた。

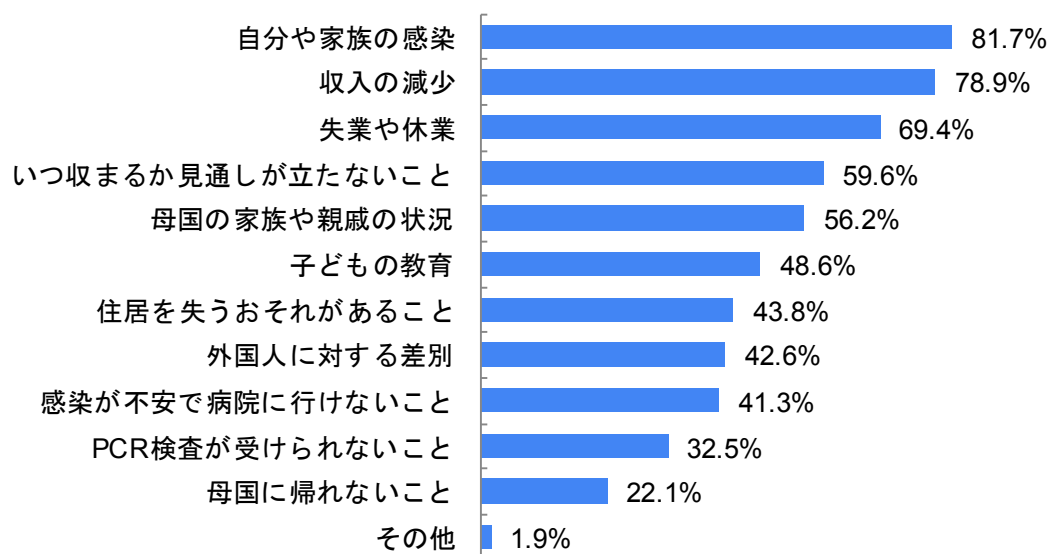
図2 (n=316)



3 新型コロナウイルスの影響により困っていること（MA）

新型コロナウイルスの影響により困っていること（複数回答可）については、「自分や家族の感染」が81.7%、次いで「収入の減少」が78.9%、「失業や休業」が69.4%となった。感染への心配が最も多い一方、経済に対する不安も上位に位置している。

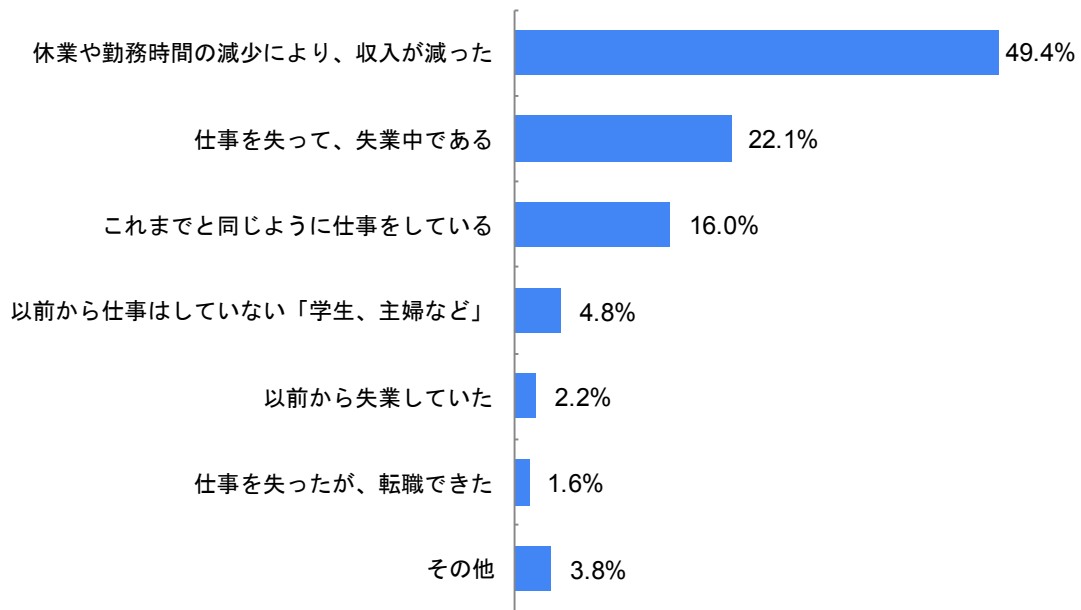
図3 (n=317)



4 新型コロナウイルスの影響による仕事の状況（SA）

新型コロナウイルスの影響による仕事の状況については、「休業や勤務時間の減少により、収入が減った」が49.4%、「仕事を失って、失業中である」が22.1%と約7割に影響が出ている。

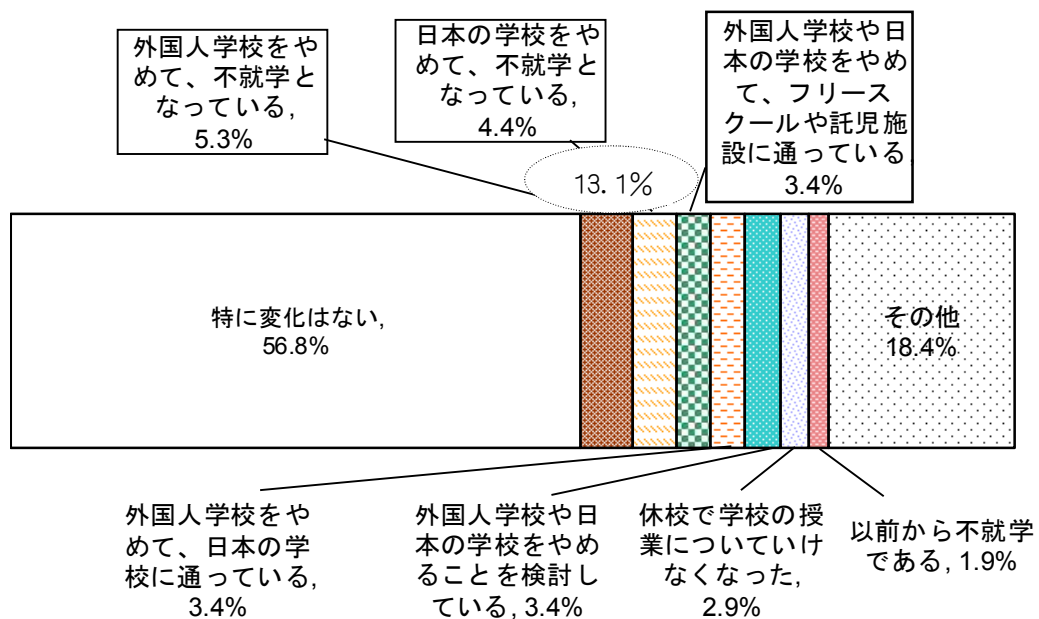
図4 (n=317)



5 新型コロナウイルスの影響による、子どもたちの教育環境の変化（SA）

約6割が「特に変化はない」と回答した。一方で新型コロナウイルスの影響により、不就学となっているとの回答は13.1%あった。

図5 (n=206)



6 県や市に対してどのような支援・サービスを望むか（S A、5段階評価）

どの項目についても「強く望む」または「望む」が大半を占めているが、「強く望む」との内容が最も多かったのは「就職・転職のための技能・技術や日本語学習の支援」であった。

図6 (n=317)

